



# 瀬田の丘

創刊 1973年

編集・発行／カトリック瀬田教会信徒会広報部  
東京都世田谷区瀬田 4-16-1

ミサの時間：月曜日-土曜日 6:20am (「朝の祈り」に続いて)  
日曜日 7:00am、8:30am、9:30am



## 灰の水曜日

主任司祭 小西 広志 神父

今年は三月二日が灰の水曜日です。その日から四旬節が始まります。わたしたちが慣れ親しんできた灰の式について少し理解を深めましょう。

灰は、古代から多くの宗教で用いられてきた「しるし」でした。ヘブライ語の聖書がギリシア語に訳された時、「ちり」を「灰」と訳し、人間のつみとはかなさに関係する「しるし」としての灰の理解が生まれました(七十人訳聖書：ギリシア語訳聖書)。

罪人の心は灰に似ていると聖書は言います。「彼は灰を食らい」(イザ 44・20)、「彼の心は灰、その希望は土よりもむなしく、その命は泥よりも卑しい」(知 15・10)のです。しかし、自分の罪を自覚する罪人は自分が塵芥にすぎないと自覚しています。「塵あくたにすぎないわたしですが」(創 18・27)とアブラハムは神に願います。シラ書は人間の、罪人ののはかなさを「人間は皆、土くれと灰にすぎない」(シラ 17・32)と断言します。灰のように吹き飛ばはかない人間は、自分が罪人であることをあらわすために灰の上に座し(ヨブ 42・6、ヨナ 3・6)、頭に灰をかぶります(ユディ 4・11、9・1)。

こうして灰は、罪人の回心を表す「しるし」となっていました。同時に不幸であるが故に意気消沈する人間の哀しみも灰は表しています。侮蔑されたタマルは「灰を頭からかぶり、まとっていた上着を引き裂きました」(サム下 13・19)。人間は哀しみの頂点で灰の上に打ち倒され(哀 3・19)灰を食らうこともあるのです(詩 102・10)。とりわけ、人の死に出会った時、「灰を身にかぶれ。独り子を失ったように喪に服し、苦悩に満ちた嘆きの声を」あげるのです(エレ 6・26)。

哀しみを表し、自らのいたらなさや罪深さを表す者に対して、神は救い主を送り「灰に代えて冠をかぶらせ 嘆きに代えて喜びの香油を 暗い心に代えて賛美の衣をまとわせる」のです(イザ 61・3)。

四旬節の初めの日に、灰の式をするようになったのは六世紀から七世紀のことのようです。罪のゆるしを願う回心者は麻や木綿でできた粗末な衣服を身にまとい、おおやけの回心のしるしとして灰をかけられました。十世紀頃になると灰を祝福する祈りが生まれ、教会共同体の中でおおやけに回心を願う人々に灰がかけられました。十一世紀末になると、すべての信者が灰を受けるようになり、十二世紀になると前年の受難の主日で祝福された枝を燃やして灰を作るようになりました。

現在では、四旬節の最初の日、水曜日にミサの中で灰の式が行われます。聖水を用いて灰を祝福し、「回心して福音を信じなさい」、あるいは「あなたはちりであり、ちりに帰っていくのです」と言葉を述べながら、司式者は信者の一人ひとりの額、あるいは頭に灰をかけます。そして一同で共同祈願を唱えて感謝の典礼へと進んでいきます。

近年、水曜日に灰の式に参加できなかった方のために、四旬節第一主日のミサの中で灰の式を行うことがありましたが、これは典礼的には意味がありません。灰の式は、灰という「しるし」を受けることが大切なのではないのです。灰を受けつつ、「しるし」の中の「しるし」であるご聖体を受けることが大切なのです。つまり、ミサの中に灰の式が組み込まれているべきです。そして、主日のミサ(つまり、灰の水曜日の次の日曜日のミサ)は、四旬節の第一主日の内容ですから、灰の式とはあまり関連がありません。

ですから、灰の水曜日以外で灰を受けること、また、ミサ以外で(それがたとえ主日のミサの最後に行ったとしても)灰を受けることは、回心の「しるし」に過ぎない灰に別の特別な意味を持たせかねませんので、ふさわしくありません。

灰を額に受けて四旬節の時を始めるのはすばらしいことです。しかし、灰を受けなければ四旬節が始まらないというのは本末転倒です。いつでも、どこでもわたしたちは回心できるのです。否、正確に言えば、いつでも、どこでもわたしたちは神さまによって回心させていただけるのです。

四旬節は主の過越の神秘を準備するための期間です。その初めの日に、額に灰をかけてもらい、かつての人々と同じように自分自身のみじめさ、いたらなさ、罪深さを再確認するのは大切だと思います。また、改めて自分のこころの中を支配している不幸な想い、哀しい気持ちに気づき、認めるためにも、灰を受けることは必要でしょう。それによって四十日後の主の過越の出来事への希望が生まれてくるのです。

灰の中に転がりまわり、自分のみじめさと向き合うわたしたちを、神は必ず立ち上がらせてくださいます。